

北空知4町地域公共交通計画（素案）についての意見募集結果

令和4年(2022年) 月 日

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>P35にある、『住民アンケート調査』の調査対象者に障がい者（車いす利用者）、運転免許不保持者、80歳以上の高齢者がどの位含まれているか不明であり、交通弱者の方々の意見を多く拾った調査があれば、まだ数字は変わらないでしょうか？</p> <p>また、子育て世代の調査対象者も不明であるため、将来の交通体系への不安、期待も併せた調査だったのででしょうか。</p>	<p>御指摘のいわゆる交通弱者については、アンケート調査の際、「75歳以上の高齢者」及び「運転免許不保持者」の回答について把握しており、これらに該当する方の回答を抽出して集計した場合においても、「将来的な地域交通の維持・確保に向けた考え方」についての設問で、4町とも「利用実態に合わせた運行路線の短絡化など合理化による地域公共交通の維持が望ましい」との意見がおおむね半数を占めており、年代や免許の所持状況を問わず同様の傾向にあると考えております。</p> <p>また、障がい者、子育て世代については調査しておりませんが、今後はこうした属性についても把握しながら、施策を検討してまいります。</p>
<p>4町の交通は旭川方面への利用が中心であり、その移動手段として、旭川や深川・滝川へ乗り換え不要のアクセス手段は今後さらに求められるのではないかと。</p> <p>旭川・深川・北空知4町が一つの経済圏・生活圏としての将来像を10年先20年先の展望として示すことが必要。</p> <p>人口減少が加速する中で、生き残りをかけた政策、交通体系はその意味で利用実態に併せての論議が更に必要で、組織の代表者だけでなく、様々な立場の住民の意見を拾っていく必要もあると考えます。</p>	<p>本計画においては、地域の実情を踏まえた公共交通を確保するため、利用実態に応じた運行規模の適正化を図りながら、交通モード間の接続性を高めるダイヤの見直しや地域内拠点の機能強化など、広域交通、地域間交通及び生活圏交通が有機的に繋がった最適な公共交通網の確保に努めることとしております。</p> <p>なお、いただいたご意見については、今後の施策の検討の参考とさせていただきます。</p>

※「意見に対する道の考え方」のA～Eの区分は次のとおりです。

A	意見をを受けて案を修正したもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等